

『人間文化』バックナンバー目次一覧

創刊號 昭和59年(1984)8月発行

佐藤 匡 玄	創刊號發刊にあたって	
前田 恵 學	ヨーロッパ仏教の成立 ——Euroboudhisme—Eurobuddhism—Eurobuddhismus——	1
村山 修 一	幕末の妙法院と宮門跡の崩壊	20
諏訪 義 純	『釋門章服儀(立體抜俗篇)』譯註稿——唐・道宣の絹衣論——	46
植村 雅 彦	変革期とトマス・モア	82
江見 佳 俊・佐野 守	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——精神分裂病者の意識現象における共形態性について——(1)	45(118)
深山 富 男	ゲーム分析の研究(1)——出版物を通して——	33(130)
苧阪 良 二	自己意識の生理心理学的側面——脳の何処に「我」は在るのか——	25(138)
石黒 鈔 二・酒井 亮 爾	青年の宗教意識に関する日米比較研究	1(162)

第2號 昭和61年(1986)9月発行

田中正 美	林則徐の「虎門銷烟」について	1
中山 治 一	コロンブスの帰着——教皇勅書と国家利害——	16
澄田 正 一	遼東半島の先史遺跡(調査抄報)——大長山島上馬石貝塚——	36
深山 富 男	ゲーム分析の研究(2)——出版物を通して——	129(128)
石黒 鈔 二・酒井 亮 爾・許 心 華・山田ゆかり	児童青年の宗教意識に関する研究——日本と台湾の比較——	96(161)
石黒 鈔 二・許 心 華・酒井 亮 爾・山田ゆかり	児童青年の宗教意識における性差と地域差——台湾の場合——	60(197)
早川 昌 範	政治的態度構造における方向の次元の多次元分析	46(211)
江見 佳 俊・山田ゆかり	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——20答法における精神病患者の自己記述について(1)——	18(239)
杉下 守 男・伊藤 元 雄	坐禅に関する心理生理学的研究——脳波の分析を中心として——	1(256)

〈資料〉

長谷部幽蹊	〈台湾仏教研究資料〉台湾の仏教・その流れと拡がり ——寺廟堂祠の成立・分布をめぐる——	46
黒田 安 雄	藩政改革と対外的危機——汾陽文書の紹介——	87

第3號 昭和63年(1988)9月発行

鈴木 鋭 彦	遠江国鎌田御厨の在家役	1
橋本 龍 幸	西ゴートの改宗とビザンツ	11
澄田 正 一	遼東半島の先史遺跡——大長山島上馬石貝塚(2)——	37
箕輪 成 男	文化政策と書籍	53
島 岩・引田 弘 道	『バガヴァッド・ギーター註解』和訳(序章)	130(107)

古 沢 宏 輔	意味の変化について	113 (124)
深 山 富 男	ゲーム分析の研究(3)——出版物を通して——	94 (143)
江 見 佳 俊・山田ゆかり	深層の機能的モデル構成のための基礎的研究 ——20答法における精神病患者の自己記述について(2)——	82 (155)
早 川 昌 範	政党支持別にみた政治的態度の因子構造に関する研究	66 (171)
石 黒 鈺 二・酒 井 亮 爾・許 心 華	青年の宗教意識に関する研究 ——日本・台湾・米国・カナダの比較——	34 (203)
赤 池 憲 昭・林 淳	鳥羽市の盆行事調査資料報告	1 (236)

~~~~~

第 4 號 平成元年(1989) 9 月発行

|                     |                                                                         |          |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------|----------|
| 澄 田 正 一             | 遼東半島の先史遺跡——大長山島上馬石貝塚(3)——                                               | 1        |
| 蛸 島 直               | プユマ族の靈魂観——ピナシキ村を中心に——                                                   | 143 (36) |
| Arthur Allan BAILEY | Learning to Doubt the Modern Superstitions of Race and National Culture | 115 (64) |
| 木 村 英 憲             | Impact of Stereotyping                                                  | 83 (96)  |
| 島 岩・引 田 弘 道         | 『バガヴァッド・ギーター註解』和訳 (第一章)                                                 | 53 (126) |
| 山 中 弘               | 奴隷問題と教団分裂——アメリカ・メソディズムの場合——                                             | 35 (144) |
| 鈴 木 俊 次             | D. H. ロレンスのメキシコ体験                                                       | 21 (158) |
| 竹 内 享               | A Streetcar Named Desire 再考 (回想・弔魂・劇評)                                  | 9 (170)  |
| 江 見 佳 俊・佐 野 守       | 深層の機能的モデル構成のための基礎的研究<br>——精神分裂病者の意識現象における共形態性について(2)——                  | 1 (178)  |

~~~~~

第 5 號 平成 2 年(1990) 9 月発行

植 村 雅 彦	排斥議会 (1679～81 年) の考察	1
澄 田 正 一	遼東半島の先史遺跡——貔子窩付近分布調査——	19
阿 部 美 哉	現代アメリカの宗教と政治 ——市民権運動とベトナム反戦運動をめぐって——	25
多 門 靖 容	接統詞と談話展開についての一視点	247 (70)
蛸 島 直	プユマ族ピナシキ村の伝統的医療——ビンロウジはビンロウジ——	217 (100)
島 岩・引 田 弘 道	『バガヴァッド・ギーター註解』和訳 (第二章の二)	173 (143)
尾 高 晋 己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(1)	131 (186)
深 山 富 男	病院において看護婦と患者が演じるゲーム——関わり分析の研究(1)——	109 (208)
早 川 昌 範	政党支持の相違を規定する要因(Ⅲ)	93 (224)
石 黒 鈺 二・酒 井 亮 爾・許 心 華	家族関係の心理学的研究(1)——祖父母に対する青年の意識——	69 (248)
江 見 佳 俊・山田ゆかり	精神病患者の家族意識に関する研究 ——20答法における両親についての記述の分析——	51 (266)
引 田 弘 道	Sāttvata Samhitā, An Annotated Translation, Chapter 3-6 (1)	1 (316)

〈書評 紹介〉

前田 恵 學	渡辺文磨著『遊行経に学ぶ』——渡辺文磨教授の遺作に偲ぶ——	42
山中 弘	阿部美哉著『政教分離——日本とアメリカに見る宗教の政治性——』	46
波多野和夫	鎌田茂雄著『こんな生き方 もっと孤独にもっと自由に 沢庵』	49

第6號 平成3年(1991)9月発行

竹内 道雄	近代曹洞宗教団の形成(一)——明治維新の宗制改革をめぐる試練——	1
大野 栄人	『摩訶止観』発大心・真正菩提心とその形成	11
林 淳	文化七年における土御門家と聖護院の争論——聖護院文書の一史料の紹介——	55
阿部 美哉	イギリス高等教育改革の示唆するもの	95
木村 英憲	Paradox of Racial Attitudes of White Americans : Effects of Areas, Interaction and Style of Presentation	127(160)
深山 富男	職場で働く人達が演じるゲーム——関わり分析の研究(2)——	107(180)
岡本真一郎	感謝表現の使い分けに関与する要因	95(192)
江見 佳俊・山田ゆかり	精神病患者の家族意識に関する研究 ——20答法における両親についての記述の分析(2)——	77(210)
蛸島 直・林 淳・山中 弘	信仰治療研究覚書	65(222)
引田 弘道	Sāttvata Saṃhitā : An Annotated Translation, Chapter 7-9 (1)	1(286)

〈書評 紹介〉

林 淳	村山修一著『変貌する神と仏たち』	112
田浦 武雄	阿部美哉著『生涯学習時代の短期高等教育』 阿部美哉監修『アメリカ大学日本校』	116
阿部 美哉	山中 弘著『イギリス・メソディズム研究』	119
大野 栄人	鎌田茂雄著『中国仏教史』第3巻・第4巻 南北朝の仏教(上)・(下)	123

第7號 平成4年(1992)9月発行

林 淳	土御門家の万歳師支配をめぐる一考察	1
神山重彦	体外に出る魂の物語	15
二宮 哲雄	20世紀における諸価値からの自由と基本的枠組の創造 ——ひとつの実験的デザイン——	25
三 苦 浩 輔	源氏物語の雪、絶望と滅びの微し	43
橋本龍幸(訳)	G. フルニエ, O. ラッペル著「オーリャックにおける イスラム貨幣の財宝の発見について」	73(112)
尾高晋己(訳)	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(2)	59(126)
大 参 義 一	ケニア国スグツツ遺跡の旧石器について	37(148)
深山 富男	親と子(学童・青年期)が話す時に演じるゲーム ——関わり分析の研究(3)——	19(166)
岡本真一郎	情報への確信・関与と文末表現	1(184)

〈書評 紹介〉

大野 栄人	諏訪義純共編『高僧伝』	76
-------	-------------	----

W. B. レディカップ(著) 名古屋泰彦(訳)

Higher Education in Japan : An Administrators' Reference to International

Programs by Yoshiya ABE, W. K. CUMMINGS and Yoshiro TANAKA 80

波多野和夫 阿部美哉編『国際文化学と英語教育』 83

鈴木哲雄 鎌田茂雄著『韓国古寺巡礼』百済編・新羅編 87

長谷川昌弘 高木健治(大字)作品集『大字念々』『南京博物院個展』 91

~~~~~  
第8号 平成5年(1993)9月発行

林 淳 陰陽師と神事舞太夫の争論 ..... 1

神山重彦 物語と物語メディア ..... 13

二宮哲雄 *Freedom from Values in the 20th Century and the Creation of  
a Fundamental Framework—The Essence of Human Being  
and Ideal Attitude of Science—* ..... 81(64)

山中 弘 現代イギリスの宗教事情と移民 ..... 65(80)

阿部美哉 大学院の大衆化 ..... 55(90)

酒井亮爾 家族関係に関する一考察  
——核家族と3世代家族を中心に—— ..... 37(108)

岡本真一郎 情報への関与と文末表現  
——話し手と聞き手の対人関係の影響—— ..... 25(120)

〈翻訳〉

尾高晋己(訳) バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(3) ..... 1(144)

〈講演〉

石田尚豊 曼荼羅研究の現代的意義 ..... 27

〈書評 紹介〉

多門靖容 山田達也・山口幸洋・鏡味明克共著『東海の方言散策』 ..... 47

~~~~~  
第9号 平成6年(1994)9月発行

森 祖道 日本スリランカ仏教センター(蘭華寺) 1

林 淳 幕末の土御門家の陰陽師支配 19

橋本龍幸 六世紀のフランクとビザンツの理念的関係
——トゥールの儀式に関するグレゴリウスの叙述意識をめぐって—— 59

松 蘭 斉 中世の外記について——局務家の形成—— 87

石 黒 淳 ヴィシュヌ信仰の形成と発展
——図像の形成と変容をめぐって—— 119

引田弘道 *Sāttvata Saṃhitā : An Annotated Translation, Chapter 12* 61(190)

山中 弘 アメリカ南部の「毒蛇使いの教会」についての研究覚え書き 45(206)

鈴木俊次 ケンブリッジとD. H. ロレンス 33(218)

青木昭六 異文化間コミュニケーション能力——その核概念とその養成—— 15(236)

岡本真一郎 情報への関与と文末表現——補足実験—— 9(242)

苧 阪 良 二 天文志における視空間構造論について 1(250)

第10號 平成7年(1995)9月発行

鈴木 鋭彦	林鶴梁日記——遠州中泉代官時代——	1
石 黒 淳	グディマツラムのリンガ	17
神 山 重彦	物語の中の時間(一)	27
二宮 哲雄	The Human Cerebral System and the Community System Correspond to Each Other	113(148)
蛸 島 直	プユマ族のカルマハン帰属原理——研究の整理と展望——	85(176)
W. B. Redekop	Pidgin English and Creole	69(192)
木 村 英 憲	淋しいアメリカ人——滞米体験記の皮膚感覚で見るアメリカ——	55(206)
深 山 富 男	「遠慮がち」と自覚する母親の育児相談——3才児健診——	33(228)
酒 井 亮 爾	学校におけるいじめとその対処法に関する一考察	1(260)
〈翻訳〉		
尾 高 晋 己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(4)	165(96)
引 田 弘 道	Sāttvata Saṃhitā : An Annotated Translation, Chapter 25 (1)	129(132)
〈研究ノート〉		
古 沢 宏 輔	On Language Acquisition	209(52)

第11號 平成8年(1996)9月発行

森 祖 道	日本スリランカ仏教センター(蘭華寺)〔続〕	1
林 淳	『指田日記』から見た村の陰陽師	19
神 山 重彦	物語の中の時間(二)	33
山 中 弘	マレーシアの宗教状況と華人の宗教世界	135(104)
二宮 哲雄	The Human Brain and the Community as a Homologous System	103(136)
高 橋 章	アメリカ史における帝国と帝国主義——理論と方法の模索——(上)	79(160)
鈴木 智 夫	万国博覧会と中国——1851～1876——	65(174)
深 山 富 男	自然体——脚本分析の一事例(3才児健診)——	43(196)
酒 井 亮 爾	学校におけるいじめ自殺——1995年の場合——	11(228)
唐 沢 稔・佐野 幸子	Determinants of Category-Based Attributions : Salience, Stereotyping, and Causal Inferences	1(238)
〈翻訳〉		
尾 高 晋 己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(5)ー1	157(82)
〈研究ノート〉		
石 黒 淳	シヴァ神話	51

第12號 平成9年(1997)9月発行

竹 内 道 雄	曹洞宗教団の歴史と信仰——三代相論と能山分離独立運動をめぐって——	1
林 淳	幕末の土御門家の陰陽師支配(一) ——『諸国御支配方御日記 慶応三年』の紹介——	15
鈴木 鋭彦	林鶴梁日記(二)——文人代官の支配地巡検——	63
神 山 重彦	「誤解」の物語	79

二宮 哲雄	複雑系としての人間の脳とコミュニティ ——愛知県三好町における事実と政策——	113 (156)
蛸島 直	プユマ族の個人名	87 (182)
野村 達朗	ニューヨーク市におけるユダヤ人移民労働者の文化 (その1)	67 (202)
高橋 章	アメリカ史における帝国と帝国主義——理論と方法の模索——(下)	45 (224)
鈴木 智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(一)	31 (238)
早川 昌範	政党支持の相異を規定する要因(V)	17 (252)
鈴木 金彌	DSM-IV Training Guide 注釈(1)	1 (268)
〈翻訳〉		
尾高 晋己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(5)ー2	149 (120)
〈資料〉		
木田 光郎・河野 和明	ストループ課題遂行とタイプA行動尺度 ——刺激希求尺度・YG性格検査・MPIとの関係——	139 (130)
~~~~~		
第13号 平成10年(1998)9月発行		
大野 栄人	天台『六妙法門』の研究(一)	1
伊藤 孝幸	一八世紀後半の地域における朝廷勢力と武家・民衆	27
三苫 浩輔	秋山真之のZ旗信号と桓武天皇の東征勅語	41
安藤 充	マレーシア華人社会における仏教	249 (138)
山中 弘	マレーシア華人社会における民衆的寺廟の展開	225 (162)
林 淳	現代マレーシアにおける創価学会の展開	209 (178)
二宮 哲雄	The Human Brain and the Community as a Homologous System : A View from the Perspective of Complex Systems	185 (202)
蛸島 直	プユマ族の出自観念および関連語彙に関する予備的報告	167 (220)
野村 達朗	ニューヨーク市における東欧系ユダヤ移民労働者の文化 (その2)	145 (242)
鈴木 俊次	ロレンスとハーディ——Darwinismの視点から——	135 (252)
木村 英憲	感情移入欠如としての偏見 ——怖がり屋であいまいが好きな「小市民リベラル」——	85 (302)
鈴木 智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(二)	69 (318)
鈴木 金彌	DSM-IV Training Guide 注釈(2)	53 (334)
赤嶺 亜紀・木田 光郎	非標的画像刺激に対する事象関連脳電位	43 (344)
引田 弘道	シヴァ・リング供養の意義——シヴァ・プラーナを中心として——	19 (368)
熊田 一雄	内観サークル運動における「交わり」と「距たり」をめぐる ——ブーバー哲学との関連において——	1 (386)
〈翻訳〉		
尾高 晋己	バーナード・ルイス著『ムスリムによるヨーロッパの発見』訳注(7)	305 (82)
〈資料〉		
鈴木 哲雄	建中靖国統燈録の住地別人名索引	271 (116)
~~~~~		

第14號 平成11年(1999) 9月発行

林 淳	土御門家配下の知多の陰陽師と出稼ぎ万歳	1
伊藤孝幸	幕藩権力の特質——交代寄合高木家を事例にして——	21
三苫浩輔	日本駆逐艦記	45
袁輪顕量	台湾現代仏教事情——中台禪寺を中心に——	75
二宮哲雄	The Human Brain and the Community as a Homologous System : —A New Paradigm Rescuing the Asian Rural Society From Facing a Crisis— the Perspective of Complex Systems	131 (160)
蛸島直	プユマ族の変名習俗	109 (182)
鏡味明克	東海地域の方言・地名の意識についての研究	97 (194)
Fitzgerald T. F.	Analysing Sects, Minorities and Social Movements in India : Ritual, Politics, and Soteriology	89 (202)
山中弘	宗教社会学における個人主義的パラダイムとその受容をめぐる ——スタークの供給側モデルと井門教団組織論を中心に——	77 (214)
鈴木智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(三)	61 (230)
多門靖容	比喩史ノート I——喩辞固定から見る——	39 (252)
鈴木金彌	DSM-IV Training Guide 注釈(3)	25 (266)
酒井亮爾	中学生の不登校に関する事例報告	1 (290)
〈翻訳注〉		
大野栄人	天台『六妙法門』の研究(二)	89
橋本龍幸	ウェナンティウス=フォルトゥナトゥス『聖ラデグンディス伝』(1) 〈De Vita Sanctae Radegundis〉	143 (148)
〈資料〉		
木村英憲	The Verbatim of a TV Program, “A World of Difference : What’s your Attitude?” Part 1	161 (130)

第15號 平成12年(2000) 9月発行

林 淳	土御門家と伊勢の暦師集団	1
伊藤孝幸	交代寄合高木家による鷹狩と伊勢鷹場	27
三苫浩輔	名前と日本海軍気質(一)	51
二宮哲雄	About Finding of the Another Human Brain : Formation of the Tokai Community	117 (160)
鏡味明克	地名標識における日本語特殊音節のローマ字表記の問題点	99 (178)
西川孝雄	高麗時代邑号陸降の研究(2)	71 (206)
鈴木智夫	清朝の遣米教育使節団と在日・在米華人(4)	59 (218)
酒井亮爾	中学生の不登校に関する事例報告(2)	41 (236)
赤嶺亜紀・木田光郎	反応プログラムの違いが反応時間と 事象関連脳電位に及ぼす影響	31 (246)
伊藤君男・岡本真一郎	説得的メッセージの情報処理に関する諸研究の展望 ——説得の二課程モデルからの検討——	13 (264)
熊田一雄	白光真宏会とジェンダー——規範からの自由について——	1 (276)

〈翻訳訳注〉

- 大野 栄人 天台『六妙法門』の研究(五) 83
橋本 龍幸 ウェナンティウス＝フォルトゥナトゥス『聖ラデグンディス伝』(2)
 〈*De Vita Sanctae Radegundis*〉 147(130)

〈資料〉

- 鈴村 金彌 多軸評定システムによる5つの診断症例 131(146)

~~~~~  
第16号      平成13年(2001)9月発行

〈論文〉

- 大野 栄人 『大智度論』の中国的展開 ..... 1  
林    淳 土御門家江戸役所の組織改革 ..... 45  
伊藤 孝幸 近世後期における交代寄合高木家の婚姻について ..... 61  
二宮 哲雄 人間の脳とその環境としてのコミュニティ  
          ——「環境社会学」の理論的発達のための一試論—— ..... 99(216)  
鏡 味 明 克 スペイン・ポルトガルの鉄道文化を見る ..... 77(238)  
風呂本武敏 Richard Hoggart 論 ..... 65(250)  
野村 達朗 アメリカ移民史学の展開(1)  
          ——「新移民史学」以前のヨーロッパ系移民史研究—— ..... 43(272)  
西川 孝雄 高麗時代邑号陸降の研究IV——各王別・各時代別の特色—— ..... 23(292)  
鈴木 智夫 祁兆熙の『出洋見聞瑣述』について(一) ..... 11(304)  
熊田 一雄 内観サークル運動における男性性の諸問題 ..... 1(314)

〈翻訳・訳注〉

- 橋本 龍幸 バウドニウィア『聖ラデグンディス伝』(1)  
          〈*Baudonivia, De Vita Sanctae Radegundis*〉(ラテン語原典訳注) ..... 161(154)  
内田 一成 性的虐待児童の心的外傷後ストレス障害に対する認知行動療法 ..... 143(172)  
引田 弘道 菩薩の偉業物語の如意蔓(アヴァダーナ・カルパラター)邦訳 ..... 111(204)

〈資料〉

- 鈴村 金彌 児童期及び青年期における精神障害の37事例(1) ..... 183(132)

〈講演〉

- 石井 修道 『無門関』の成立・伝播・性格をめぐって ..... 201(114)

~~~~~  
第17号 平成14年(2002)9月発行

〈プロジェクト研究〉

- 鈴木 哲雄 欧陽脩の排仏についての考察 1
鄭 夙雯
菱田 邦男 ベトナム上座仏教における尼僧たちの存在形態 15(378)
ホアン・トロン・ソー
岡本真一郎 「そうです」型応答詞の使用の規定因 1(392)
多門 靖容

〈論文〉

- 林 淳 近世三河万歳の組織——職札と貢納料から見た—— 15

伊藤孝幸	交代寄合高木家による年貢徴収について	29
三苫浩輔	光源氏の成長	61
二宮哲雄	学問的権威のみに依拠しようとする研究者の進路を妨げる 社会的障害・差別とその排除の方法——二宮による 「もう一つの人間の脳の発見」とその理論の立場から——	147(246)
鏡味明克	日本語地名とアイヌ語地名の人体語表現の比較	137(256)
野村達朗	アメリカ移民史学の展開(3)——統合をめぐる今日の論議——	115(278)
西川孝雄	高麗時代の良吏と酷吏研究	103(290)
鈴木智夫	祁兆熙の『出洋見聞瑣述』について(二)	79(314)
尾高晋己	露土戦争(1768～74年)について(1)	57(336)
酒井亮爾	学校におけるいじめによる不登校——事例報告(5)——	41(352)
熊田一雄	プロミス・キーパーズにおける保守的セクシュアリティ観について	29(364)
〈翻訳・訳注〉		
大野栄人	天台『六妙法門』の研究(六)	79
神山重彦	『菩薩の偉業物語の如意蔓』への補注	215(178)
安藤充	古ジャワ版「バガヴァッドギーター」和訳(1)	199(194)
橋本龍幸	パウロニウィア『聖ラデグンディス伝』(2) 「Baudonivia, De Vita Sanctae Radegundis」(ラテン語原典訳註)	183(210)
引田弘道	エーカシュリング(一角)仙物語 ——『アヴァダーナ・カルパラター』第65章和訳——	163(230)
〈資料〉		
蛸島直	プユマ族の成巫儀礼：写真資料	251(142)
鈴木金彌	児童期及び青年期における精神障害の37事例(2)	235(158)
木田光郎	Go/Nogo 課題と Stop/Nostop 課題における 事象関連脳電位：反応時間と P3 の相関	223(170)
~~~~~		
第18号 平成15年(2003)9月発行		
〈共通テーマ「異文化接触の諸相」〉		
Gregory Rohe	The Age of Return : Context and Identity in Native American Repatriation	119(284)
蛸島直	プユマ族における異民族系宗教職能者とその継承	93(310)
白石浩之	縄文時代草創期における異文化接触の諸相 ——狩猟具の地域的様相——	71(332)
鏡味明克	アイヌ語地名の日本語接触変化	57(346)
青木昭六	日英語表現比較 ——宮沢賢治の作品に見られるオノマトペの英訳文に基づいて——	1(402)
〈論文〉		
佐藤悦成	西明寺蔵『龐居士語録』研究序説	1
鈴木哲雄	湖南省禅宗史蹟調査の旅	23
鄭鳳雯	神事舞太夫の家職争論	55
林淳	現代台湾仏教における師弟の育成について ——仏学院・仏学研究所を中心に——	69

西川 孝雄	高麗時代の「嬖幸伝」研究 Ⅰ——立伝人物の分析——	159 (244)
鈴木 智夫	醇親王載灃の訪独(一)	143 (260)
酒井 亮爾	ホーム・ページによる「いじめ相談」の試み	131 (272)
〈翻訳・訳注〉		
大野 栄人	天台『六妙法門』の研究(七)	85
引田 弘道	サンガラクシタ譬喩物語	229 (174)
橋本 龍幸	パウロニウィア『聖ラデグンデイス伝』(3)	211 (192)
神山 重彦	『エーカシュリナガ(一角)仙物語』への補注	203 (200)
安藤 充	古ジャワ版「バガヴァッドギーター」和訳(2)	185 (218)
〈資料〉		
鈴木 金彌	児童期及び青年期における精神障害の37事例(3)	241 (162)

第19號 平成16年(2004) 9月発行

〈共通テーマ「宗教と社会」〉

林 淳	『指田日記』から見た村の陰陽師(二)	1
熊田 一雄	若者の宗教倫理のセラピー化について	1 (398)

〈プロジェクト研究〉

裴 輪 顕 量 林 淳	台湾の現代仏教と道教信仰	19
松崎 博	大学のなかの「鯨」——続「白い」鯨とアメリカ文学——	57 (342)
野村 達朗	アメリカにおける「新労働史学」の誕生の背景 ——「ニューレフト史学」とその変容を中心に——	35 (364)
赤嶺 亜紀 木田 光郎	情動喚起刺激に対する事象関連脳電位	25 (374)
岡本真一郎	内分泌攪乱物質リスクのコミュニケーション ——警告表現から導出される推意に関する一研究——	15 (384)

〈論文〉

石黒 淳	カジュラーホのラクシュマナ寺院——外壁の神像と装飾浮彫りを巡って——	49
橋本 龍幸	聖ラデグンデイスとビザンツ宮廷(1) ——ボワティエの「十字架」の宗教的political背景——	203 (196)
西川 孝雄	高麗時代の「忠義伝」と「孝友伝」研究——立伝人物の分析——	177 (222)
中田 栄	子どもの自己効力の育成をめざしたコンサルテーションによる支援 ——教師の自己決定を尊重した効果的なコンサルテーションのための連携——	151 (248)
鈴木 智夫	醇親王載灃の訪独(二)	131 (268)
小林 隆夫	イギリスと甲申事変——1880年代半ばのイギリス東アジア政策(1)——	117 (282)
鏡 味 明 克	北海道におけるアイヌ語地名の現代日本語接触変化	105 (294)
尾 高 晋 己	露土戦争(1768～74年)について(2)	87 (312)
小笠原 眞	マックス・ヴェーバー再考 ——特に西洋における労働観の史的変遷について——	71 (328)

〈翻訳・訳注〉

大野 栄人	天台『六妙法門』の研究(Ⅳ)……………	69
引田 弘道	アショーカー物語(その一)——『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』第69-72章——……………	227(172)
神山 重彦	『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』第66〜67章への補注……………	217(182)

〈資料〉

鈴木 金彌	児童期及び青年期における精神障害の37事例(4)……………	257(142)
-------	-------------------------------	----------

第20號 平成17年(2005)9月発行

〈共通テーマ「文化の歴史的構造と社会」〉

蛸 島 直	台湾先住民パイワンにおけるいわゆるトンボ玉の由来……………	1(480)
-------	-------------------------------	--------

〈プロジェクト研究〉

鈴木 哲雄 鄭 夙雯	江蘇地方の禅宗史蹟調査……………	1
多門 靖容 岡本真一郎	定型の前置き表現分析のために……………	55(426)
青木 昭六 浜田 忍	コミュニケーション能力を育成するための発問のあり方……………	29(452)

〈論文〉

林 淳	東北の陰陽道と天文学……………	39
橋本 龍幸	聖ラデグンディスとビザンツ宮廷(2) ——ボワティエの「十字架」の宗教的政治的背景——……………	303(178)
野村 達朗	アメリカ新労働史学の先駆者たち(B) ——デイヴィッド・モンゴメリーとメルヴィン・デュボフスキー——……………	279(202)
西川 孝雄	高麗時代の「姦臣伝」の研究 I ——立伝人物の分析——……………	243(238)
田島 毓堂	『窓ぎわのトットちゃん』語彙 7 ——分布 1 の語——(その 2)……………	207(274)
小林 隆夫	イギリスの巨文島占領(1885)と対中日政策 I ——1880年代半ばのイギリス東アジア政策(3)——……………	191(290)
熊田 一雄	現代日本の大衆文化における「女性の男性性」 ——オルタナティヴな男性性のありか——……………	171(310)
木村 英憲	生活空間への外国人の受け入れと接触忌避 ——閉鎖日本論の検証に向けて——……………	147(334)
鏡 味 明 克	北海道におけるアイヌ語地名の好字への書き替え・読み替え……………	139(342)
尾 高 晋 己	露土戦争(1787〜1792年)について(3)……………	107(374)
小笠原 眞 林 孟 蓉 水谷 友昭	現代若者考——特にわが国の「フリーター」と「ニート」を中心に——……………	85(396)
伊藤 元雄	図形の形と空間的定位が視覚誘発電位に及ぼす効果……………	73(408)

〈翻訳・訳注〉

大野 栄人	『次第禅門』の研究(一)……………	53
立川 武蔵	ランチュン・ドルジェの『大印契誓願』……………	95
引田 弘道	アショーカー物語(その二)——『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』第73, 74章——……………	347(134)

神 山 重 彦	『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルバラター』 第68～72章への補注……………	335 (146)
安 藤 充	ウリハスパティの真理(1)……………	319 (162)

~~~~~

第21號 平成18年(2006) 9 月発行

〈共通テーマ「文化の歴史的構造と社会」〉

| | | |
|-------|--|---------|
| 小笠原 真 | マックス・ヴェーバー都市論の再検討
——なぜ社会学者はこの研究を不当に無視してきたか—— …… | 1 (336) |
|-------|--|---------|

〈プロジェクト研究〉

| | | |
|---------|---|---|
| 蓑 輪 顕 量 | 台湾における修行「仏七」と門派化の進む寺院
——西蓮淨苑・慧日講堂・南普陀寺・靈巖山寺・仏光山—— …… | 1 |
|---------|---|---|

〈論文〉

| | | |
|---------|---|-----------|
| 菊 池 一 隆 | 一九二〇年代における華洋義賑救災総会の活動と
農村信用合作社 …… | 19 |
| 林 淳 | 徳川將軍と改暦 …… | 57 |
| 鏡 味 明 克 | アイヌ語地名の痕跡化 …… | 19 (318) |
| 木 村 英 憲 | 差別的評価としての偏見 …… | 29 (308) |
| 田 島 毓 堂 | 『窓ぎわのトットちゃん』語彙10
——度数1の語(その3)・度数率50%以上—— …… | 53 (284) |
| 西 川 孝 雄 | 高麗時代の「叛逆伝」研究 I ——立伝人物の分析—— …… | 81 (256) |
| 野 村 達 朗 | 19世紀アメリカ女性労働史の研究 …… | 109 (228) |
| 橋 本 龍 幸 | 聖ラデゲンディスとビザンツ宮廷(3)
——ボワティエの「十字架」の宗教的 political 背景—— …… | 133 (204) |

〈書評〉

| | | |
|---------|--|-----------|
| 谷 川 真 一 | Xiaobo Lü and Elizabeth J. Perry, eds., <i>Danwei: The Changing Chinese
Workplace in Historical and Comparative Perspective</i>
楊曉民・周翼虎著『中国単位制度』 …… | 147 (190) |
|---------|--|-----------|

〈翻訳・訳注〉

| | | |
|---------|---|-----------|
| 大 野 栄 人 | 『法華玄義』の研究(三) …… | 77 |
| 引 田 弘 道 | クナーラ物語(その一)——『ボーディサットヴァ・
アヴァダーナ・カルバラター』第59章和訳—— …… | 159 (178) |
| 神 山 重 彦 | 『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルバラター』
第73～74章への補注 …… | 187 (150) |
| 安 藤 充 | ウリハスパティの真理(2) …… | 199 (138) |

~~~~~

第22號 平成19年(2007) 9 月発行

〈共通テーマ「民俗と文化」〉

蛸 島 直	プユマの雨乞い ……	1 (416)
-------	------------	---------

〈プロジェクト研究〉

多 門 靖 容	定型の前置き表現分析のために(2) ——オソレイリマスガ・キョウシュクデスガ資料—— ……	27 (390)
---------	--------------------------------------------------	----------

〈論文〉

林 淳	一九三〇年、マルクス主義者と宗教学者の論争	1
菊池一隆	万宝山・朝鮮事件の実態と構造 ——日本植民地下、朝鮮民衆による華僑虐殺暴動を巡って——	15
安 都根	いわゆる「楊斌事件」からみる中国の 対朝鮮半島戦略の一側面	81
三 苦 浩 輔	芥川龍之介『偷盗』の非道の物語	99
熊 田 一 雄	日本の新宗教と『暴力のアート』 ——天理教教祖の場合——	51 (366)
尾 高 晋 己	オスマン帝国とロシアの通商・航海条約(1783)について ——オスマン外交のヨーロッパ化の視点から——	65 (352)
西 川 孝 雄	高麗時代の「叛逆伝」研究 III——立伝人物の分析——	75 (342)
橋 本 龍 幸	聖ラデゲンディスとビザンツ宮廷(4) ——ポワティエの「十字架」の宗教的政治的背景——	103 (314)
小笠原 眞	「日本の近代化と禅宗」再考 ——特に鈴木正三にみる「日本資本主義の精神」論をめぐって——	123 (294)
鏡 味 明 克	東北地方のアイヌ語地名の痕跡	141 (276)
田 島 毓 堂	『窓ぎわのトットちゃん』語彙11 ——度数1の語——(その4)	151 (266)

〈翻訳・訳注〉

大 野 栄 人	『法華玄義』の研究(五)	121
立 川 武 蔵	『完成せるヨーガの環』研究(二)	179
引 田 弘 道	クナーラ物語(その二)	173 (244)
安 藤 充	ウリハスパティの真理(3)	191 (266)

第23号 平成20年(2008)9月発行

〈共通テーマ「民俗と文化」〉

鏡 味 明 克	東北地方のアイヌ語地名の復元	1 (368)
木 村 英 憲	評価の源泉としての文化——異文化接触の視点から——	9 (360)
蛸 島 直	台湾先住諸民族の「頭目制」とその分類をめぐって	31 (338)

〈論文〉

菊池一隆	日本国内における在日中国・「満洲国」留学生の対日抵抗について ——戦時期、日本華僑史研究の一環として——	1
後 藤 致 人	近代日本における内奏の位置づけと密奏の系譜	47
下 川 玲 子	朱子学と自由主義	75
松 蘭 斉	治承三年のクーデターと貴族社会——花山院流と藤原基房——	91
小笠原 眞	加藤高明——特に彼の外相及び首相としての功罪——	45 (324)
Shinichi Tanigawa	Origins of <i>Danwei</i> Mobilization	63 (306)
西 川 孝 雄	高麗時代の「叛逆伝」研究 V——立伝人物の分析——	83 (286)

〈翻訳・訳注〉

大 野 栄 人	『法華玄義』の研究(七)	123
神 山 重 彦	『クナーラ物語』への補注	111 (258)

引田 弘道	ヤショーダ物語 ——『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルバラター』第62章和訳—— ..... 121 (248)
-------	-------------------------------------------------------------------

〈資料〉

林 淳	神事舞太夫と修験の争論 ..... 209
-----	-----------------------

第24號 平成21年(2009) 9月発行

〈論文〉

林 淳	近世後期における土御門家・陰陽師 ..... 1
菊池 一隆	「大東亜共栄圏」下の南洋華僑教育 ——マラヤ・「昭南」(シンガポール)を中心に—— ..... 13
下川 玲子	北畠親房と山崎闇斎——日本神道史における「神」概念の展開—— ..... 39
西川 孝雄	高麗辛禡・辛昌・恭讓王と將軍李成桂研究 ——廃仮立真の後嗣問題—— ..... 1 (336)
小林 隆夫	巨文島撤退後のイギリス極東政策 I ..... 21 (316)
伊藤 孝幸	大学と博物館学芸員との交流の一事例 ..... 35 (302)
熊田 一雄	天理教教祖は強い父の夢を見たか？ ——日本の宗教界と宗教学の共犯関係—— ..... 43 (294)
鏡味 明克	東北地方のアイヌ語地名の再確認 ..... 51 (286)
小笠原 眞	盛田昭夫 ——小さな町工場から〈世界のソニー〉へ育て上げた男—— ..... 61 (276)
田島 毓堂	『窓ぎわのトットちゃん』語彙14 ——中間の語彙の意味分野別構造 I 部門別比較—— ..... 81 (256)
蛸島 直	プユマの首長制——カサヴァカン村の事例から—— ..... 101 (236)
上田 恒雄	グローバル英語学科における 習熟度別リスニング指導の成果(1) ..... 121 (216)

〈翻訳・訳注〉

大野 栄人	『法華玄義』の研究(Ⅷ) ..... 57
立川 武蔵	『完成せるヨーガの環』研究(Ⅲ) ..... 117
引田 弘道	大迦葉物語——『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルバラター』 第63章和訳—— ..... 137 (200)
神山 重彦	『ヤショーダ物語』への補注 ..... 151 (186)
安藤 充	古ジャワ語シヴァ教文献「原理の知識」和訳(1) ..... 161 (176)
羽多野正美	ドリス・レッシング「ワイン」(試訳) ..... 177 (160)

第25號 平成22年(2010) 9月発行

〈論文〉

松 蘭 斉	中世の宮家について——南北朝・室町期を中心に—— ..... 1
林 淳	国家神道と民衆宗教——村上重良論序説—— ..... 33
下川 玲子	朱子学と近代——丸山眞男の議論の再検討—— ..... 53
西川 孝雄	高麗恭愍王の研究 I ——王師・福州播遷・宦者の禍を中心に—— ..... 1 (352)
小林 隆夫	イギリスの上ビルマ併合とビルマ・中国の朝貢問題 ..... 27 (326)

熊田 一雄	〈自己完成のための殺人〉の発見と変容 ——『宮本武蔵』をめぐる——	47 (306)
谷川 真一	造反派組織の成立から二極化へ ——陝西省各県の事例から——	57 (296)
松崎 博	The Sound of Silence ——ロジャーズとハマースタイン二世の『南太平洋』について——	77 (276)
高木(北山)真理子	ホノルルにおけるエスニック居住区の形成と変化 ——日系居住区のマノアとモイリイリに注目して——	97 (256)
田島 毓堂	『窓ぎわのトットちゃん』語彙16 ——中間の語彙の意味分野別構造 3 コード別比較——	119 (234)
上田 恒雄	グローバル英語学科における 習熟度別リスニング指導の成果(2)	143 (210)
中村 幸子	A Study of Lexicalisation and Re-lexicalisation in an Interpreter-mediated Courtroom Discourse: Corpus-based Approach	163 (190)
〈翻訳・訳注〉		
大野 榮人	『法華玄義』の研究(十)	73
立川 武蔵	『中論』一章訳注	131
神山 重彦	『大迦葉物語』への補注	175 (178)
羽多野正美	第28の物語——ウィリアム・ペインター『悦楽の宮殿』より—— (試訳及び語義表)	185 (168)

~~~~~  
第26号 平成23年(2011) 9月発行

〈論文〉

| | | |
|-------|--|-----------|
| 福島 金治 | 中世後期美濃国細目郷の領主古田氏と不二庵 | 1 |
| 伊藤 孝幸 | 三河国東部での相給村の支配について | 25 |
| 西川 孝雄 | 高麗恭愍王の研究Ⅲ——麗末倭寇対処の事例—— | 1 (306) |
| 菊池 一隆 | 中・台・韓各歴史教科書の中の韓国・朝鮮
——日本の問題と関連させて—— | 33 (274) |
| 熊田 一雄 | 不安障害と日本の宗教——天理教の事例から—— | 57 (250) |
| 前田 満 | 話者の行動から見た英語格体系の廃用 | 67 (240) |
| 蛸島 直 | 台湾先住民ブユマの発祥地参拝行事の成立 | 91 (216) |
| 上田 恒雄 | グローバル英語学科における習熟度別リスニング指導の成果(3) | 115 (192) |
| 中村 幸子 | 裁判員裁判制度における外国人刑事事件と通訳
——法廷通訳に期待される役割と現実—— | 137 (170) |

〈翻訳・訳注〉

| | | |
|-------|--|-----------|
| 大野 榮人 | 『法華玄義』の研究(十二) | 51 |
| 羽多野正美 | 40番目の物語(見目麗しいギリシャ娘アイリーン)
——ウィリアム・ペインター『悦楽の宮殿』より——(試訳・語義表) | 149 (158) |

〈共通テーマ「人と風土」〉

| | | |
|--------------|--|-----------|
| 田島 毓堂
金 華 | 日本語の外来語の増加と中国の日本語教育 | 169 (138) |
| Paul MASON | Modern British: The Disunited Kingdom? | 181 (126) |

〈プロジェクト研究〉

| | | |
|---------|--|-----------|
| 松 蘭 齊 | 日本人と日記 | 85 |
| 後 藤 致 人 | | |
| 高田三枝子 | 対人配慮の定型表現「スミマセン」の音声特徴
——発話の持続時間について—— | 193 (114) |

第27号 平成24年(2012) 9月発行

〈論文〉

| | | |
|---------|---|-----------|
| 松 蘭 齊 | 『看聞日記』に見える尼と尼寺 | 1 |
| 菊 池 一 隆 | 在日朝鮮人学校における中等歴史教科書について | 1 (286) |
| 熊 田 一 雄 | 日本の宗教と「斜めの関係」
——天理教と脱ひきこもり—— | 31 (256) |
| 木 村 英 憲 | 国際化のモデルとしてのアメリカ人像の批判的検討
——アメリカ人は人の目を気にしないで、日本人は気にする
——というのは本当か?—— | 41 (246) |
| 田 島 毓 堂 | 意味分野別語彙構造分析法における意味コードの使用法
及び分類枠組についての提案
——単語コードと語素コードによる分析3(承前)—— | 67 (220) |
| 木 村 文 輝 | 静岡県中・東部地方における曹洞宗の廃絶・転宗寺院
の歴住世代(1) | 103 (184) |
| 上 田 恒 雄 | グローバル英語学科における習熟度別リスニング指導の成果(4) | 137 (150) |

〈翻訳・訳注〉

| | | |
|---------|---|-----------|
| 大 野 榮 人 | 『法華玄義』の研究(十五) | 19 |
| 伊 藤 光 壽 | | |
| 橋 本 龍 幸 | 『フランク史書』 <i>Liber Historiae Francorum</i> | 155 (132) |
| 神 山 重 彦 | 『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』第55章
への補注 | 177 (110) |

〈プロジェクト研究〉

| | | |
|-------|-----------------------|----------|
| 林 淳 | 仏教と多神教をめぐる比較宗教学的研究・覚書 | 57 |
| 蛸 島 直 | 蟹に化した人間たち(1) | 189 (98) |

第28号 平成25年(2013) 9月発行

〈論文〉

| | | |
|----------|-----------------------------------|----------|
| 菊 池 一 隆 | 日本の理蕃政策と台湾原住民
——戦時期を中心に—— | 1 |
| 中川すがね | 江戸後期の本両替経営について
——銭屋市兵衛を例に—— | 33 |
| 下 川 玲 子 | 日本近世思想における近代の萌芽 | 67 |
| 小 林 隆 夫 | イギリス・チベット協定(1904年)と英中関係(1) | 1 (300) |
| 前 田 満 | 構文化と脱従属化 | 17 (284) |
| 上 田 恒 雄 | 語彙力とリスニング／リーディング能力との相関(1) | 37 (264) |
| P.D.メイソン | Towards a Topography of Fandom(s) | 53 (248) |

〈翻訳・訳注〉

- 大野 榮人 『法華玄義』の研究(十六) 81
伊藤 光壽
安藤 充 古ジャワ語シヴァ教文献「原理の知識」和訳(2) 71 (230)

〈プロジェクト研究〉

- 松 蘭 斉 室町時代の女房について
——伏見宮家を中心に—— 143
蛸 島 直 蟹に化した人間たち(2): 平家蟹の記録を中心に 85 (216)

第29號 平成26年(2014) 9月発行

〈論文〉

- 佐藤 悦成 雪竇頌古百則の研究(一) 1
菊池 一隆 台湾北部における日本討伐隊とタイヤル族
——対日抵抗と「帰順」—— 29
小林 隆夫 イギリス・チベット協定(1904年)と英中関係(2)
——協定への中国の同意をもとめる英中交渉の展開—— 1 (336)
木村 文輝 ラーマヌジャの瞑想論(2)
——『シュリー・パーシュヤ』III.3.6~10読解—— 25 (312)
上田 恒雄 語彙力とリスニング／リーディング能力との相関(2) 37 (300)
熊田 一雄 アンパンマンの孤独
——愛と勇気とホモソーシャル—— 53 (284)
P.メイソン The Effect of Affect
How Fans Relate to Their Objects 65 (272)

〈翻訳・訳注〉

- 大野 榮人 『法華玄義』の研究(十八) 65
伊藤 光壽
引田 弘道 『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』
第32章、33章和訳 87 (250)
大羽 恵美
安藤 充 古ジャワ語シヴァ教文献「原理の知識」和訳(3) 107 (230)

〈プロジェクト研究〉

- 蛸 島 直 『狂歌百物語』に見る平家蟹: 蟹に化した人間たち(3) 129 (208)
G.L.ロウ
中村 幸子 Qualitative and Quantitative Results from Study-Abroad Surveys 155 (182)
道添 栄一
P.メイソン

第30號 平成27年(2015) 9月発行

〈論文〉

- 菊池 一隆 一九五〇年代台湾「白色テロ」と原住民
——角板山と阿里山—— 1
中村 敦子 『ノルマン帝国』後の40年
——貴族層を中心としたアングロ・ノルマン史研究の現在の動向—— ... 1 (294)
日野 紹運 Ramakrishna and Vivekananda with Special Reference to their Ideas of Truth 19 (276)

| | | |
|------------|---|-----------|
| 竹下修子 | Present Conditions and Issues of Education for Muslim Children of Inter-marriage in Japan:
A Case Study of Self-help Educational Activities by Japanese Mothers..... | 33 (262) |
| 上田恒雄 | 語彙力とディクテーションの相関..... | 43 (252) |
| 〈翻訳・訳注〉 | | |
| 大野榮人 | 『法華玄義』の研究 (二十)..... | 35 |
| 伊藤光壽 | 『ボーディサットヴァ・アヴァダーナ・カルパラター』 | |
| 引田弘道 | 第31章、34章和訳..... | 55 (240) |
| 大羽恵美 | 古ジャワ金言集Ślokāntara訳注研究(1)..... | 83 (212) |
| 安藤 充 | | |
| 〈プロジェクト研究〉 | | |
| 松 蘭 齊 | 続・戦国時代禁裏女房の基礎的研究
——下級女房たちを中心に—— | 105 |
| 野呂忠司 | Quantitative Assessment of the Extensive Reading Program
in the Global English Department, with a Focus on
the Development of General Reading Ability
and Linguistic Proficiency | 105 (190) |
| G.L.ロウ | | |
| 浜田 忍 | | |
| 岡田佐由里 | | |
| 〈資料〉 | | |
| 中川すがね | 史料紹介 大坂町人平野屋武兵衛の「例歳式目帳」(全文翻刻)..... | 129 |